

# 農業を知ろう

いい天气に恵まれて若松の大自然の中、畑に向かいました。生産者の永住さんから収穫方法を聞いて、早速じゃがいもの収穫開始です。



大小さまざまなじゃがいもを手に取り、嬉しそうにどんどん袋に詰めていきました。



シンシアという品種のじゃがいもなんだって。

普段行なっている機械掘りを見せていただきました。深く掘るとまだまだたくさんのじゃがいもがあります。



給食で食べているじゃがいもは、永住さんの畑でとれたものがたくさんでいて、永住さんは他にもトマトやかぼちゃ、キャベツなども作られているそうです。



最後に永住さんは、一緒に給食を食べながら、若い世代の皆さんに農業に関心を持って欲しいと話しておられました。



給食協会では、食育(地産地消)の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため収穫体験を行っています。

今回は6月14日(火) **小倉北区足立小学校5年生**25名が、若松区有毛の永住さんの畑で“じゃがいも”の収穫体験を行いました。